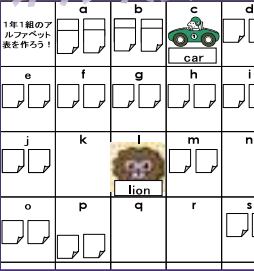




ポイント⑤ 主体的に学ぶ課題を設定すること

例

自己紹介カード活用① Show & Tell (話す)		同じ自己紹介文を何度も活用する		活用② 書き写す → 掲示	
中学校(入門期: Unit 1 に入る前)					
第1時		第2時		第3・4・5時	
第6・7時		第1時		第2時	
話すこと・聞くこと		話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと			
小学校外国語活動で学んだ表現を使って自己紹介しようとする。		アルファベットの形に慣れる。 身近な英単語を読むことができる。		教科書の自己紹介文を読むことができる。自分の自己紹介文を書き写すことができる。	
一人ずつ教員と初対面のあいさつを簡単な英語でする。 同時に、横の人と自己紹介やサインをし合う。		前時のワークシートの評価 → 頑張ろうとしている新鮮な気持ちを共有し合う。 → 聞く・話す・読む・書くことの全ての力が必要であることを伝える。		アルファベットチャンツ 英単語カードゲーム	
★文字指導は、その後の英語学習に大きく影響を与える。 急がず、ていねいに！ ていねいに！を心がけて指導する。					
自己紹介カードを使って、グループ内で自己紹介し合う。 自己紹介を聞いた生徒は、相手の自己紹介カードに感想を書き、サインをする。 身の回りの英語を使ってカードゲームをする。 (複数枚カードを準備をし、カードを取る機会を増やす。) ① 絵カード ② 絵+単語カード ③ 単語カード		アルファベット26文字で始まる単語を見つけ、学級独自のアルファベット表を完成させよう！ オリジナルアルファベット表 		自己紹介文を書き、ALTに届けよう！ 教科書P.24,25のグリーン先生の自己紹介を音読する。 ① 教科書の本文を読む。 ② ワークシートにした自己紹介文を読む。(文字を読ませる。) 自分の自己紹介文を読む。(教員が一人ずつの自己紹介文を手本として作成する。) 手本を見ながら正しく書き写す。	
活動の評価をする。 外国語活動で身に付けたコミュニケーション能力を中学校での授業で生かしていくことを伝える。 中学校での勉強の仕方を教える。 → 学び方についてのまとめと、決意を書かせる。		それぞれの単語を 聞く ↓ 発音する ↓ 読む ↓ 書く 		グループで単語を集める。 集めた単語を付箋で貼り付ける。 学級で確認しながら表に単語を書き入れる。 学級独自のアルファベット表が完成する。 ★ 体験を通して気付かせる。 	
自己紹介カードを使って自己紹介している。①		文字(大文字)と音を一致させることができる。④		文字(小文字)と音を一致させることができる。④	
単語と絵や音声とを一致させることができる。④		文字を区別して書くことができる。②		単語を正しく書き写すことができる。②	
自己紹介文を正しく書き写すことができる。②		教科書にある自己紹介文の英語を読むことができる。③			
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②表現の能力 ③理解の能力 ④言語や文化についての知識・理解					
英語ノートで慣れ親しんだ単語を、音と文字との関係に気付かせる単語として扱うのは難しい。中学校のHello, Englishの英単語を使い、音に慣れ親しませるとともに、音と文字の関係に気付かせるような授業展開を工夫する。 入門期の指導において、学習集団としての学ぶ意欲を向上させることも大切な視点である。目的や相手をはっきりとした活動を計画し、全員で楽しさを共有できる授業展開を工夫する。					

中学校の入門期は、ペアやグループなど友達と協力して、主体的に取り組めるような課題を設定しましょう。学習活動や教員によるガイダンスを通して、生徒に教科への移行を自覚させましょう。言語習得の過程に沿った小刻みな課題を用意し、やりきらせることで、生徒が達成感を感じ、自信を持てるような入門期にしましょう。